

科目ナンバリング		U-LAS00 20014 SJ34							
授業科目名 <英訳>	科学論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Philosophy and History of Science				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 青山 拓央			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	哲学・思想(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>哲学と科学に興味があり、かつ、文章を読みながら「議論する」ことについて深く学びたい学生に向けて、ディスカッション中心の授業を行ないます(単位取得には積極的な発言が必要です)。 教員の準備した文献(科学哲学や分析哲学の文献を中心に選定。これまでに、たとえば、サミール・オカーシャ著『科学哲学』や信原幸弘編『心の哲学』等から文章を抜粋)をクラス全体で精読するほか、各回の担当者を選定し、担当者による司会進行のもとで、ディスカッションを実施します。</p>									
【到達目標】									
配布した資料の読解を通じて文章精読の技術を学ぶとともに、哲学的・科学的観点から新たな知見を獲得する。									
【授業計画と内容】									
<p>第1回：授業についてのガイダンスを行なう。 第2回：教員による司会進行と解説のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。 第3回～第14回：各回の担当者による司会進行のもと、クラス全体でのディスカッションを行なう。適宜、教員による解説を挟む。 第15回：フィードバック</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
各回の授業におけるディスカッションへの参加度と、担当者としての発言内容をもとに、成績評価を行なう。(詳細は講義のガイダンスにて説明します。)									
【教科書】									
必要に応じて、プリントを配布します。									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
【授業外学修(予習・復習)等】									
各回のディスカッション内容を振り返ることで、自分の担当回ではどのように司会進行を行なうかを考えておく。									
【その他(オフィスアワー等)】									
ゼミナール形式であることをふまえ、受講希望者多数の際は、受講制限をすることがあります。活発な議論への参加を期待します。									